表彰状

久留米市食育推進団体表彰　功績表彰部門

社会福祉法人　金丸福祉会　金丸保育園　殿

貴団体は本市の食育推進に
尽力されその功績は誠に
顕著でありますます
よってここに表彰します

平成二十四年九月二十九日

久留米市食育推進会議

会長　楢原　利則

キラリ☆久留米
輝く、人・まち。

平成24年度
久留米市食育推進団体表彰
受賞団体・活動紹介

事業概要

久留米市では第2次久留米市食育推進プランを策定し、『市の特性を活かした市民協働による「生きる力を育む」食育』をテーマに掲げ、各事業に取り組んでいます。

今年度からスタートした久留米市食育推進団体表彰は、久留米市における食育推進に顕著な功績のあった団体を表彰し、その功績を称えるとともに、各団体が市内で実践している食育の優れた取組を表彰し、市民へ広く紹介することによって、家庭や地域、教育現場、職場などの様々な場面で実践されている食育の取組を市全体に広げ、市民協働による食育を推進することを目的としています。

表彰部門

○功績表彰部門（10団体）

久留米市において長年の食育推進活動の実績があり、「第2次久留米市食育推進プラン」のテーマに掲げる「市の特性を活かした市民協働による『生きる力を育む』食育」を推進し、久留米市の食育推進に寄与する功績が認められる団体を表彰します。

○活動表彰部門（18団体）

久留米市で実践された、アイデアに優れ、継続的な取組が可能であり、他の団体への波及効果が期待できる、他の手本となる優れた活動を表彰します。

●久留米市立　荒木保育園　（園長　柳瀬暁子）

平成18年度に食育実践モデル園に指定され、子どもの発達段階に応じたテーマを設定し、食育への取組を行っている。平成19年度からは、生ごみリサイクル活動を開始し、年間を通して給食室から出た調理くず（生ごみ）を利用して堆肥化しており、その堆肥を使って、野菜を植え、収穫し、料理をして食べるという食の循環を園児が体験し、食べものへの愛情や感謝の気持ちが醸成されている。

さらに、保護者対象の料理教室や、親子クッキング（手作り味噌作り）、食育講演会の開催、保護者会広報誌を使った食の情報の掲載などを行い、家庭での食育につながるように保護者への啓発にも力を入れている。

●久留米市立　大城保育所　（園長　赤司はるみ）

平成19年度から、給食から出た調理くず（生ごみ）を子どもたちが手でちぎり、畑に混ぜ、堆肥化し、その堆肥を利用して野菜を栽培し、食するという「食の循環」の取組を行っている。給食の調理方法には皮ごと調理するなどの工夫をしており、調理くずの減量に繋がっている。

また、保護者に対しても、食育講演会を実施し、掲示板や便り等で食育の啓発を行うなど、子どもたちの取組が家庭へ広がるように努力している。

さらに、園での活動を祖父母や地域の方々を招待し、収穫した野菜を使って一緒にクッキングをするなどの取組へ発展させている。

●社会福祉法人なの花会　千歳保育園　（園長　中村博恵）

平成18年度に食育実践モデル園に指定され、「保護者とともに行う食育実践」をテーマに取組を行っている。特に、「親子クッキング体験」「食生活アンケート実施」「食育だより・給食だよりの発行」「食育研修会」「ふれあい掲示板」など保護者が参加できる食育に取り組んでいる。

また、平成19年度からは、給食から出た調理くず（生ごみ）を子どもたちと保育士で土に返して堆肥化し、その堆肥を利用して野菜を作り（プランター菜園）食することで、食の循環を実践している。さらに、保護者に対する食育の啓発として、保護者懇談会での生ごみリサイクル見学体験やクッキング講習会（よもぎ、かぼちゃ、にんじん、パセリのクッキー作りなど）を実施している。

●社会福祉法人金丸福祉会　金丸保育園　（園長　萩尾光代）

平成17年度に食育実践モデル園に指定され、子どもたちの自然や身近な食への関心、野菜への親しみを感じることをねらいとして野菜づくりを開始している。

また、平成19年度には生ごみリサイクル活動を開始。子どもたちが毎日の活動として、当番で給食の調理くず(生ごみ)をハサミで細かく切り、土に混ぜる活動をしている。この調理くずを利用した堆肥でできた野菜を、行事食などに利用する園独自の取組を行っている。

さらに、保護者には、食育の大切さや食への関心を深めるように、食育の取組についての情報発信を行っている。

久留米市食育推進団体表彰式
平成24年9月29日

平成 24 年 ９月２９日久留米市食育推進団体表彰が行われ、
金丸保育園が、功績表彰部門で表彰されました。
園を代表し、主任の竹原りえが出席し、表彰状を頂きました。
表彰式には、仕事がお休みの親御さんに連れられて、数人の子ども達も
参加しました。